



# 週報

Rotary  
東京本郷ロータリークラブ



2016-2017 年度 国際ロータリーテーマ 「人類に奉仕するロータリー」  
東京本郷ロータリークラブテーマ 「ひとりひとりができること」

創立/平成 3 年 3 月 13 日 (1991 年)

事務局/〒 102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-9-6-905 電話: 03-3238-5350 FAX: 03-3238-5352

インターネットホームページ: <http://www.t-hongo-rc.gr.jp> E-mail: [office@t-hongo-rc.gr.jp](mailto:office@t-hongo-rc.gr.jp)

例会: 毎週水曜日 12 時 30 分 例会場: ホテルメトロポリタンエドモント 電話: 03-3237-1111

〒 102-8130 東京都千代田区飯田橋 3-10-8

会長: 小野澤亮介 副会長: 小出 豊 会長エレクト: 松下和正 幹事: 井田吉則 会報委員長: 飯田美里

3 月 8 日 第 1218 回例会

2017 年 3 月 8 日発行 (No. 1170)

## 本日の卓話

「士 (さむらい) 業シリーズ -  
『公認会計士って何する人?  
税理士さんとの違い』」  
樺本 健夫 会員

## 次回の卓話 (3 月 15 日)

イニシエーション・スピーチ  
三浦 謙吾会員

3 月 1 日 第 1217 回例会報告

### 卓話

イニシエーション・スピーチ

篠崎 陽一会員



### 理事会報告

1. 決算報告は次会 4 月 5 日理事会にて報告されることとなった。
2. クラブのホームページの管理・運営について適正な管理が必要なため、引続き検討することとなった。
3. ロータリー財団補助金奨学生候補のスポンサークラブを引き受けることが承認された。

以上

### 幹事報告

1. 3 月のロータリーレートは 1 ドル = 116 円です。  
又、「コーディネーターニュース」3 月号を各テーブルに配布致しましたので、ご覧下さい。
2. 2 月 28 日 (火) 次年度地区国際奉仕委員会が開催され、本郷会員が出席されました。

### 出席

会員数: 52 名 欠席出席免除者: 4 名 出席数: 35 名  
欠席数: 13 名 出席率: 72.92%  
2 月 15 日修正後出席率: 76.60%  
クラブゲスト: 孔 玲玲さん (米山奨学生)

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

### ニコニコBOX

#### \* 本郷 滋会員

20 年前の 3 月に会社を設立しました。早いものです。20 年記念でホールディング会社「アンドモア」を設立しました。記念品を贈りましたので、御笑納ください。

#### \* 樺本健夫会員

東京マラソン走って参りました。タイムは 4 時間 26 分でした。今年からコースが代わって、東京駅がゴール地点となり、とても走りやすかったです。今まで何度か走った中で、今年は初めて一回も歩かなかったことが、とても良かったです。

**\* 篠崎陽一会員**

本日はイニシエーションスピーチです。皆様よろしくお願ひ致します。

**\* ロータリー情報委員会**

2月22日にロータリーソングの勉強会を中原ゆり先生を招いて行いました。新入会員の篠崎さん、三浦さん、平尾さん、栗原さん（ソングリーダー）とロータリー情報委員会の企画で行いました。残金をニコニコします。

**\* 清水卓治会員**

東京マラソン、無事に終わりました。

**\* 伊藤 守会員**

花粉症の皆様お疲れ様です。ここで1句「春近く 花粉舞う日 我慢かな」

**\* 加藤利雄会員**

春らしくなりました。

|         |          |
|---------|----------|
| ニコニコBOX | 30,000円  |
| 累 計     | 910,731円 |

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

**ロータリー会長より  
アトランタ大会に関するメッセージ**

この度、6月にアトランタで開かれるロータリー国際大会に、ビル・ゲイツ氏を講演者としてお招きすることとなりました。このニュースを皆さまにお知らせできることを、誠に嬉しく感じております。ロータリーとビル&メリンダ・ゲイツ財団は、長年ポリオ撲滅活動で協力してきました。この関係は、ポリオの撲滅まであと少しとなった最終局面において、さらに深まっています。ゲイツ氏と妻メリンダさんは、本日発表された毎年恒例のレターの中で、ロータリーに対する感謝と、各国政府、ユニセフ、世界保健機関（WHO）、米国疾病対策センターとの協力を通じて成し遂げてきたポリオ撲滅活動の目覚ましい進展に触れています。

効果的なリソースがそろった今、昨年のポリオ症例が歴史上最後の症例となるか、今後症例があったとしてもそれが最後となる可能性があります。このような状況を踏まえ、本大会ではゲイツ氏がポリオ撲滅の完遂のために私たちにできることを語ってくださいます。

6月10～14日にアトランタ（米国ジョージア州）で開かれるロータリー国際大会に、私とビル・ゲイツ氏とともに、皆さまにもご出席いただけることを願っております。この素晴らしい講演を聴ける機会をぜひお見逃しなく。

早期割引料金は、3月31日までです。アトランタ国際大会への登録を検討下さい。

**「最近の「70年間」という流行語から  
連想して、世代間隔に思う」**

近藤博隆会員

我がクラブメンバーを見回したとき、最高年者が1921年生まれで、最も若い会員が1980年生まれであり、その差59年間となります。種々の世代でクラブメンバーが構成され、そして、それぞれの職業人が一体となり、スキルと情熱を持って五大奉仕に励んでいるのです。そこで世情はわが国のあの敗戦から70年間が何だったのか語られており話題は様々ですが、70年間というのは見方を変えれば現役活動1世代30年とすれば2世代間隔を意味することに私は注目しております。間隔が2世代なので、メンバー区分で見れば3世代のフェローの集団であります。1926年生まれの私故に70年以前の経験、更には私より前の世代の経験も伝承しております。日露戦争（1904～1905）から1945年迄の40年間も世代変化の観点から思い返しているのです。そこで、標題の70年間が日本にとって平和で繁栄状況ゆえに変化めまぐるしい国際情勢の下で、わが国では世代間の意識の共有点より、特異性が特徴的になってきており世代間ギャップが気になってきていませんか。

折角の同じクラブのフェローとしてのそれぞれの自己精進の中でどのようなことが世代ギャップなのか、その調和のため、それぞれの話題を捉え、語り合いたいものです。私としては、各世代とくに1945年以降生まれの方々に対しては、その方の生まれた年は日本にとって、どういう時機であったのから語り掛けたいと思っています。思いを残し時は過ぎていく中で、「あれこれ」の中から「これこれ」に挑戦続けたいものです。

以上

**東京上野 RC  
例会臨時変更のお知らせ**

2017年4月17日（月）例会を下記に振替

2017年4月18日（火）第31回コンサート・例会・懇親会 台東区ミレニアムホールにて「和響の誘い」

本日の例会にて、

|           |    |         |
|-----------|----|---------|
| ロータリー財団寄付 | 1名 | 10,000円 |
| 米山特別寄付    | 0名 | 0円      |

のご寄付をいただきました。  
ありがとうございました。